

2013年 11月 15日

# 2014年3月期 第2四半期 決算説明会

---

**第一実業株式会社**

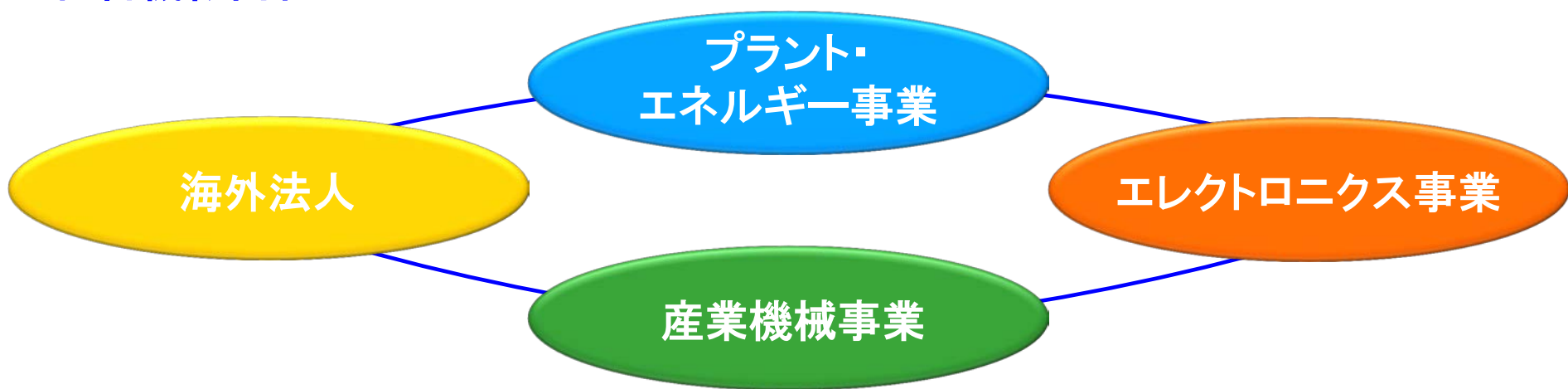
代表取締役社長 山片康司

証券コード：8059

# 企業概要

社名	第一実業株式会社
設立	1948年8月
資本金	5,105百万円
従業員数	単体 423名 連結 1,069名
グループ会社	国内 9社 海外 20社
事業所	国内 7拠点 海外 38拠点

当社は、**各種産業用機械のトップサプライヤー**として**グローバル**に活動を行っている**総合機械商社**です。



1. 2014年3月期 第2四半期 決算概要
2. セグメント別 概況
3. 海外事業 概況
4. TOPICS
5. 2014年3月期 業績見通しおよび中期経営計画
6. 配当政策

◆ご参考資料

# 2014年3月期 第2四半期 決算概要

(百万円)

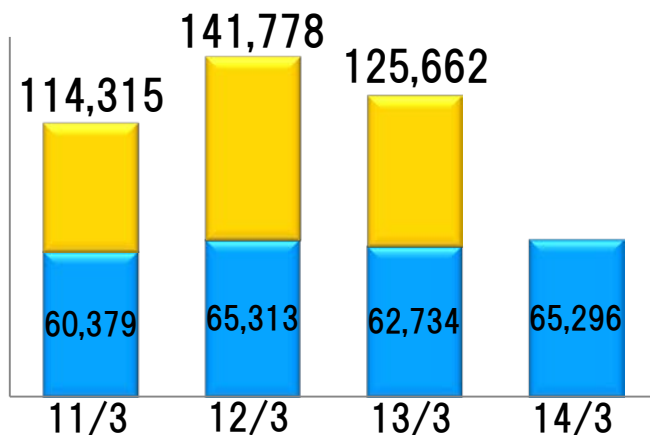
	13/3(2Q)	14/3(2Q)	増減
受 注 高	62,734	65,296	+2,561
売 上 高	61,514	62,356	+841
営 業 利 益	2,067	1,927	△140
経 常 利 益	2,318	2,099	△218
四 半 期 純 利 益	1,292	1,107	△185
1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益	24.58円	20.92円	△3.66
自己資本四半期純利益率(ROE)	5.0%	3.7%	△1.3
総資産経常利益率(ROA)	2.9%	2.7%	△0.2

# 経営成績の推移(連結)



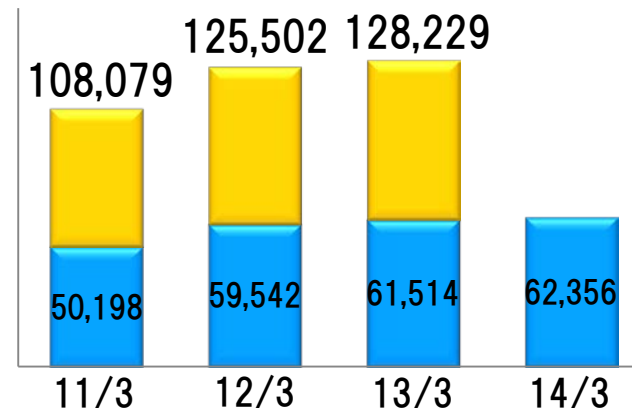
## 受注高

(百万円)



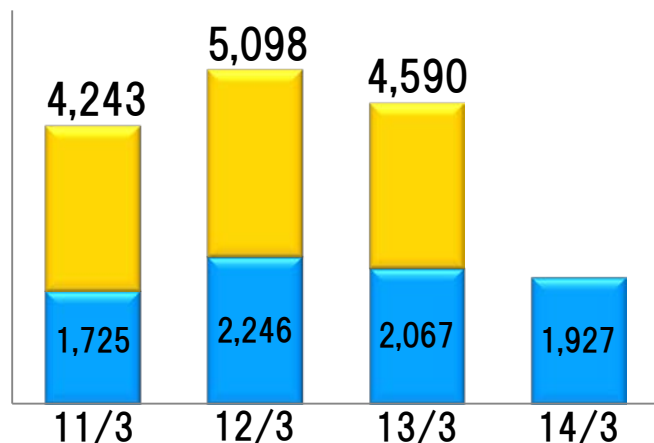
## 売上高

(百万円)



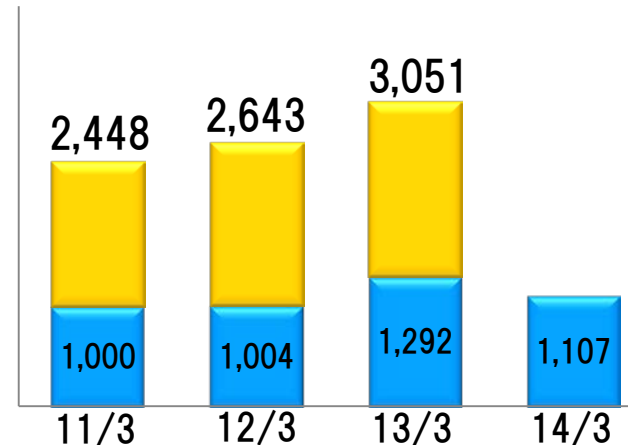
## 営業利益

(百万円)



## 純利益

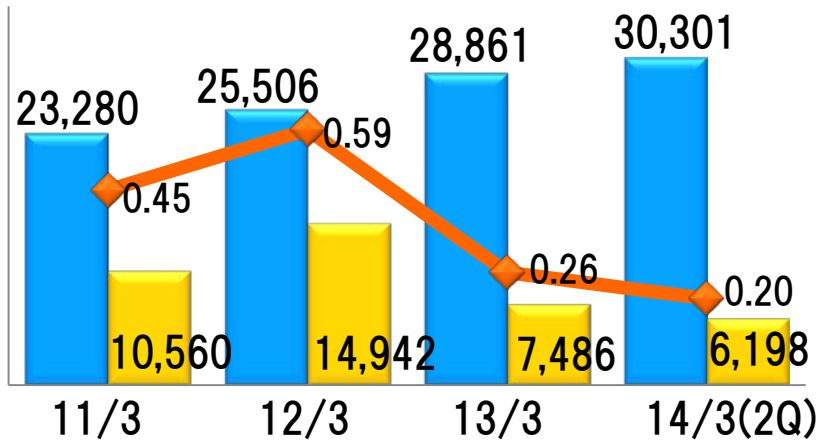
(百万円)



# 財務およびキャッシュ・フローの状況(連結)

■ 自己資本 ■ 有利子負債 ◆ DER(倍)

(百万円)



(百万円)

	13/3	14/3(2Q)	増減
自己資本	28,861	30,301	+1,439
有利子負債	7,486	6,198	△1,288
D E R	0.26倍	0.20倍	△0.06

DER = 有利子負債 ÷ 自己資本

- 営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権や前渡金の減少などにより増加。
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の返済や配当金の支払いなどにより減少。

(百万円)

	13/3(2Q)	14/3(2Q)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,048	403	△9,645
投資活動によるキャッシュ・フロー	△86	△90	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,715	△1,661	+8,053
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,823	11,511	△2,311

1. 2014年3月期 第2四半期 決算概要
2. セグメント別 概況
3. 海外事業 概況
4. TOPICS
5. 2014年3月期 業績見通しおよび中期経営計画
6. 配当政策

◆ご参考資料

## 受 注 高

(百万円)

	13/3(2Q)	14/3(2Q)	増減率
プラント・エネルギー事業	16,760	15,672	△6.5%
エレクトロニクス事業	17,804	15,914	△10.6%
産業機械事業	16,672	20,657	+23.9%
海外法人	9,919	12,229	+23.3%
その他	1,577	821	△47.9%
合計	62,734	65,296	+4.1%



## 売上高

(百万円)

	13/3(2Q)	14/3(2Q)	増減率
プラント・エネルギー事業	16,304	15,964	△2.1%
エレクトロニクス事業	15,775	16,606	+5.3%
産業機械事業	16,314	17,302	+6.1%
海外法人	11,273	11,322	+0.4%
その他	1,846	1,160	△37.1%
合計	61,514	62,356	+1.4%

# セグメント別受注高および受注残高(連結)



(百万円)

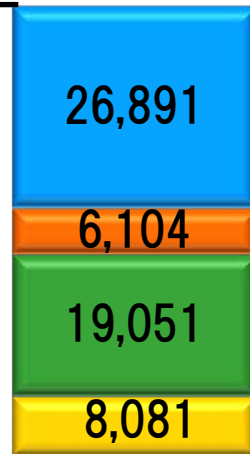
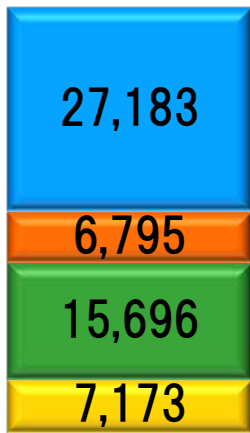
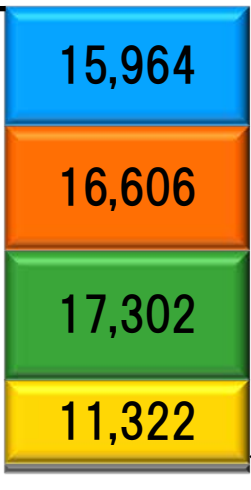
- プラント・エネルギー事業
- エレクトロニクス事業
- 産業機械事業
- 海外法人
- その他

14/3(2Q)  
受注高  
65,296

14/3(2Q)  
売上高  
62,356

13/3  
受注残高  
57,735

14/3(2Q)  
受注残高  
60,675



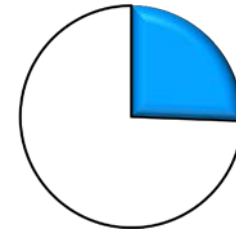
# プラント・エネルギー事業(連結)

## 事業内容

プラント・エネルギー事業では、エネルギー開発分野(物理探鉱機器・解析ソフトウェア、陸上・海上用掘削リグ等)、生産・精製分野(石油ガス・地熱生産地上システム、風力・太陽光発電、石油精製プラント、石油化学プラント、エンジニアリング等)、製紙分野(製紙プラント等)に関連する機器・設備を取り扱っております。

**受注高 15,672百万円**(前年同期比 6.5%減)

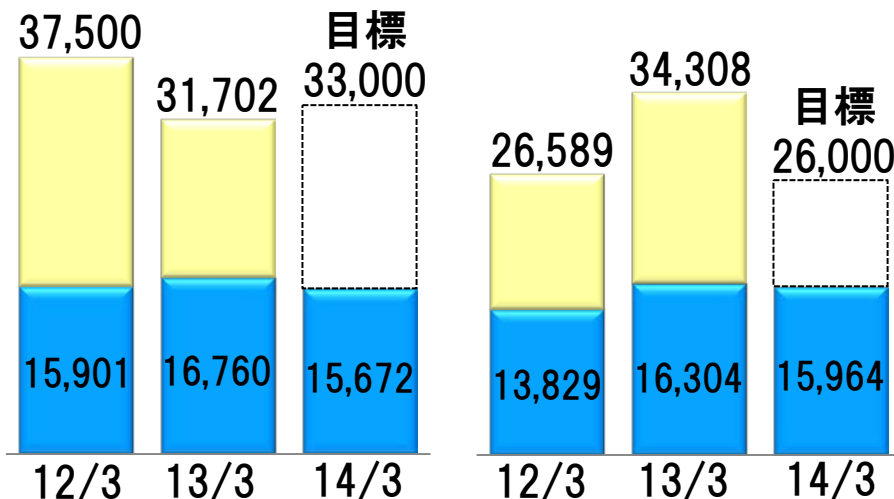
**売上高 15,964百万円**(前年同期比 2.1%減)



総売上高比率  
**25.6%**

### 受注高

### 売上高



### 事業概況

大手エンジニアリング会社経由の海外向け肥料プラント用設備の大口受注や、化学会社向けの高吸水性樹脂プラント用設備、海外向けのエチレンプラント用設備等の既受注案件の売上があったものの、受注高、売上高ともに微減。

引き続き、海外向けのプラント設備の受注活動を強化する一方、国内におけるメガソーラー発電事業の推進や、小型バイナリー発電装置の拡販など、新エネルギー分野での営業活動にも注力する。

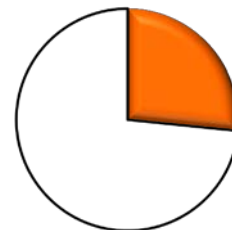
# エレクトロニクス事業(連結)

## 事業内容

エレクトロニクス事業では、電子部品実装機(SMT)をはじめとする半導体・液晶モジュール組立関連装置、各種検査機器、周辺機器を取り扱っております。

**受注高 15,914百万円** (前年同期比 10.6%減)

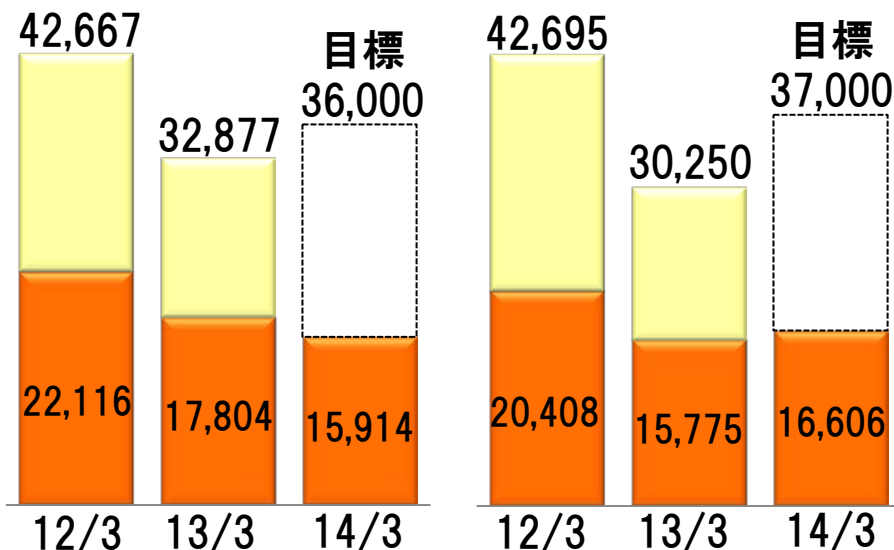
**売上高 16,606百万円** (前年同期比 5.2%増)



総売上高比率  
**26.6%**

### 受注高

### 売上高



### 事業概況

中国、韓国を中心としたIT・デジタル関連機器製造会社向けの電子部品実装機等の需要が回復せず、売上高は僅かに増加したものの、受注高は減少。

スマートフォンやタブレット端末における生産設備のシェア争いが激化していることから、実績顧客向けに生産性向上のための設備の入れ替えを提案するとともに、新市場へのアプローチも視野に販路の拡大に努める。

# 産業機械事業(連結)

## 事業内容

産業機械事業では、自動車関連業界・食品関連業界向けに射出成形機・押出成形機・真空成形機・塗装機器等、医薬品関連業界向けに錠剤検査機器等、航空関連業界向けに航空機用デアイサー・トーイングトラクター・消防関連特殊車両・除雪車等、二次電池関連業界向けに焼成炉等を取り扱っております。

**受注高 20,657百万円** (前年同期比 23.9%増)

**売上高 17,302百万円** (前年同期比 6.1%増)

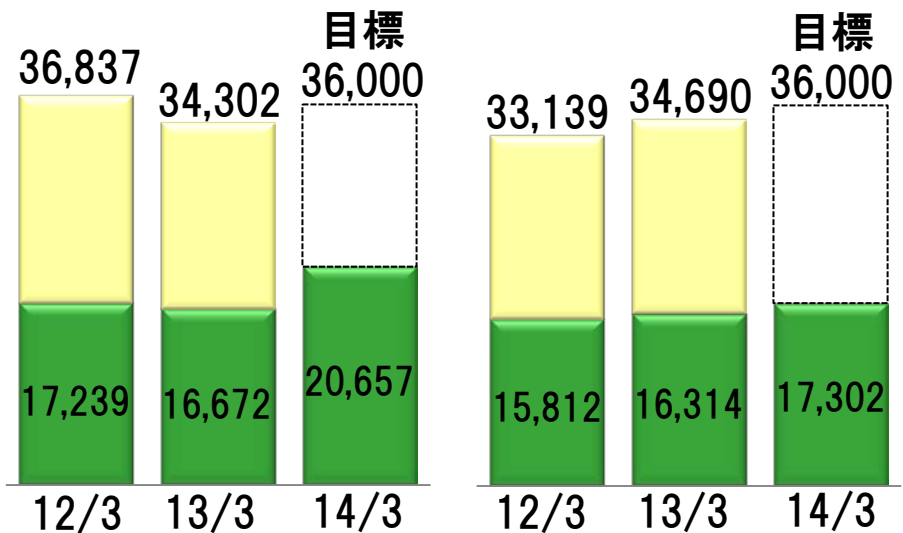


総売上高比率  
**27.7%**

### 受注高

### 売上高

### 事業概況



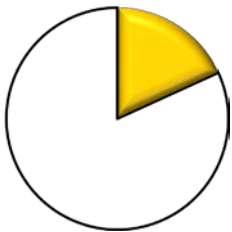
海外を中心に自動車・二輪部品製造会社向けの各種製造設備や製薬会社向けの医薬関連設備の需要が好調であったため、受注高、売上高ともに増加。  
新興国における自動車・二輪、家電、食品等における設備投資の需要は引き続き好調であるため、当社が得意とする付帯設備も含めた製造プロセスに係る各種設備の一括受注を目指し、営業活動に注力する。また、官公庁向けの空港用特殊車両の拡販にも尽力する。

# 海外法人(連結)

## 事業内容

世界四軸体制を構成する海外現地法人は、当社が国内で取り扱っている各種機械・機器の販売をするほか、それぞれのエリアでの直接仕入れ・販売も行っております。

**受注高 12,229百万円** (前年同期比 23.3%増)  
**売上高 11,322百万円** (前年同期比 0.4%増)

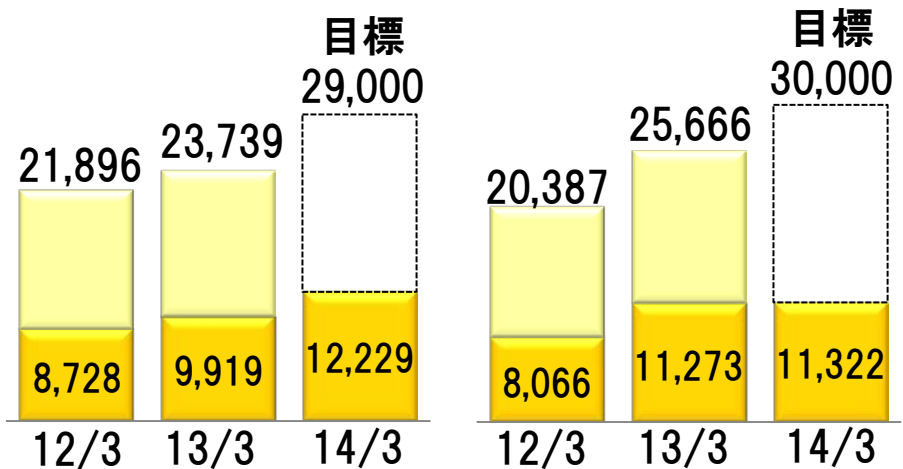


総売上高比率  
**18.2%**

### 受注高

### 売上高

### 事業概況



アジア地域におけるIT・デジタル関連製造会社や自動車・二輪部品製造会社向けの各種製造設備の需要が堅調に推移し、受注高、売上高ともに増加。  
 新興国の経済成長と消費拡大は依然として続いており、各地域における設備投資の需要を取りこぼすことのないよう、戦略的な人財の配置や取扱商品の現地調達化の推進など、グローバルコーディネート力をさらに強化する。

1. 2014年3月期 第2四半期 決算概要
2. セグメント別 概況
3. 海外事業 概況
4. TOPICS
5. 2014年3月期 業績見通しおよび中期経営計画
6. 配当政策

◆ご参考資料

# グローバルネットワーク

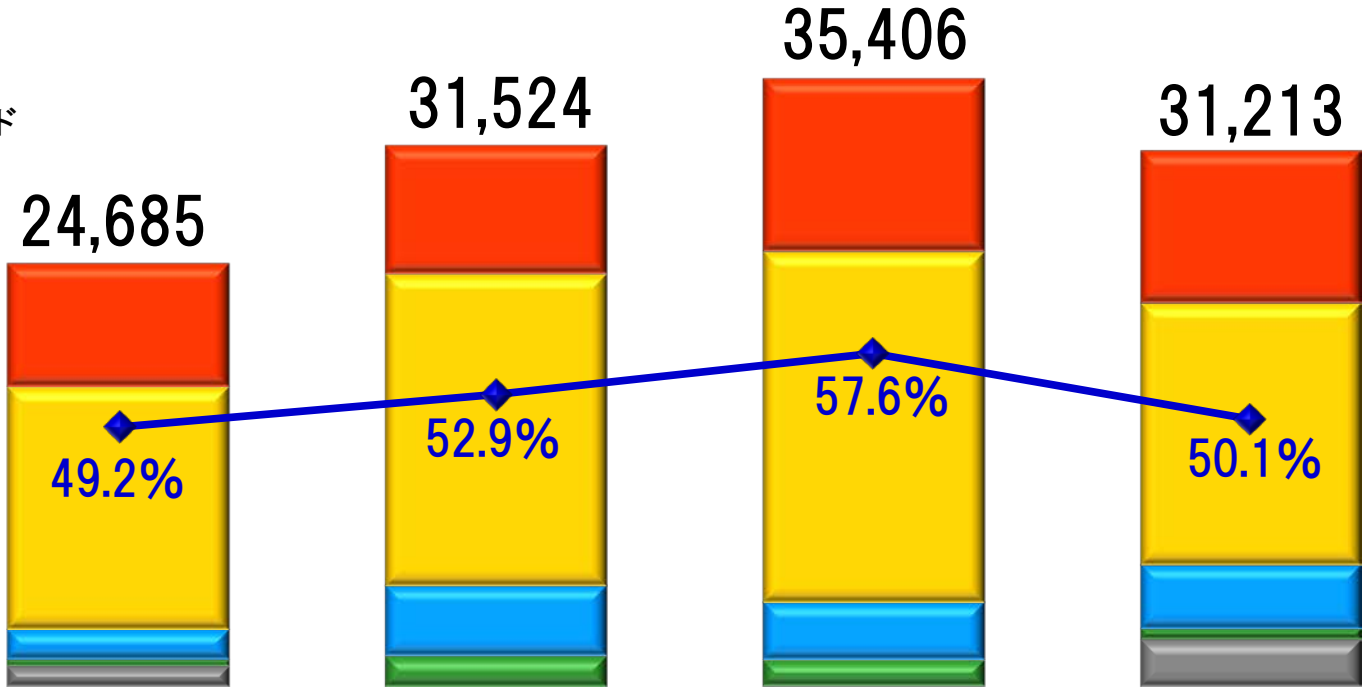


米州		中国		東南アジア・インド		欧州	
シカゴ	モンテレイ	上海	長春	シンガポール	ハノイ	台北	フランクフルト
ヒューストン	サンパウロ	天津	武漢	クアラルンプール	マニラ	ソウル	プラハ
ノックスビル	マナウス	蘇州	常州	ピンツル	ラグナ	ドーハ	ブダペスト
プエルトリコ		広州	香港	バンコク	ニューデリー		
ケレタロ		重慶		ジャカルタ	バンガロール		
ティファナ		深セン		ホーチミン	アーメダバード		



# 海外売上高(連結)

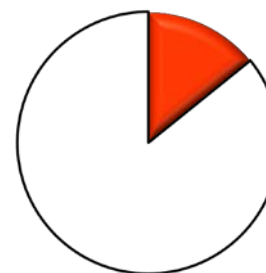
- 中国
- 東南アジア・インド
- 米州
- 欧州
- その他
- ◆ 総売上高比率



(百万円)

	11/3(2Q)		12/3(2Q)		13/3(2Q)		14/3(2Q)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
中国	7,200	29.2%	7,478	23.7%	10,054	28.4%	8,859	28.4%
東南アジア・インド	14,145	57.3%	18,166	57.6%	20,430	57.7%	15,249	48.9%
米州	1,761	7.1%	4,103	13.0%	3,359	9.5%	3,748	12.0%
欧州	391	1.6%	1,750	5.6%	1,525	4.3%	663	2.1%
その他	1,187	4.8%	25	0.1%	35	0.1%	2,691	8.6%
合計	24,685	100.0%	31,524	100.0%	35,406	100.0%	31,213	100.0%
総売上高比率	49.2%		52.9%		57.6%		50.1%	

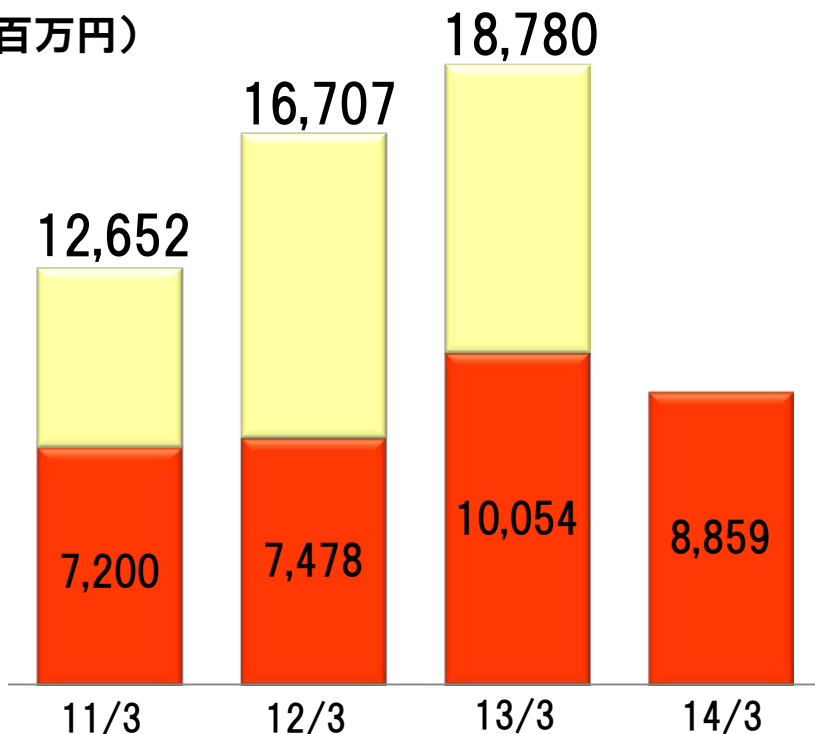
売上高 8,859 百万円  
(前年同期比 11.9% 減)



総売上高比率  
14.2%

## 売上高

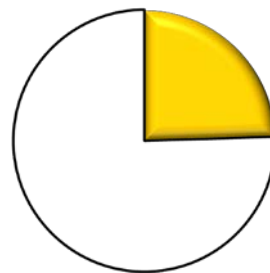
(百万円)



## 事業概況

IT・デジタル関連製造会社向け電子部品実装機等の大口の売上計上があったものの、車載関連、デバイス関連製造設備の需要が回復に至らず売上高は減少。  
今後は、中国系の携帯電話製造会社やEMS企業への深耕を図りつつ、自動車部品製造会社向けに各種製造設備の拡販に注力する。また、LIB関連製造装置、医薬関連設備などの中国における新分野への参入を進める。

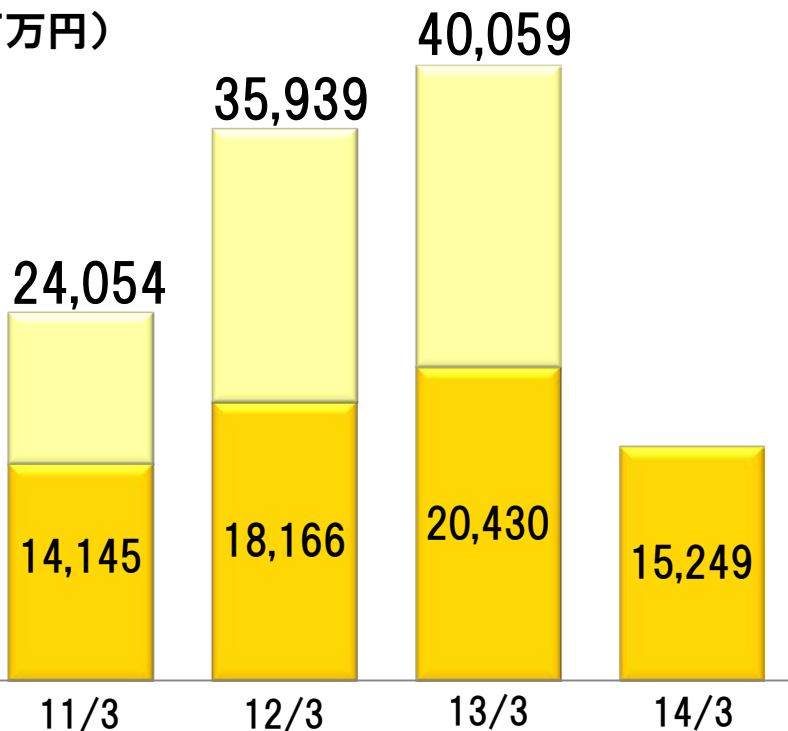
**売上高 15,249 百万円**  
**(前年同期比 25.4% 減)**



総売上高比率  
**24.5%**

## 売上高

(百万円)

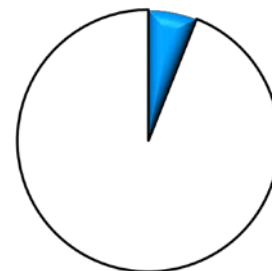


## 事業概況

タイ、ベトナムにおけるIT・デジタル関連製造会社向け電子部品実装機等の需要が低調に推移し、売上高が減少。

ものづくりの現場である東南アジア・インドにおいて設備投資を強化する日系企業のサポートにあたるため、今上期にマレーシアのビンツル、インドのアーメダバードに新しく営業拠点を開設。エンジニアリング機能を生かした現地完結型ビジネスを提案し、新商圏の拡大を狙う。

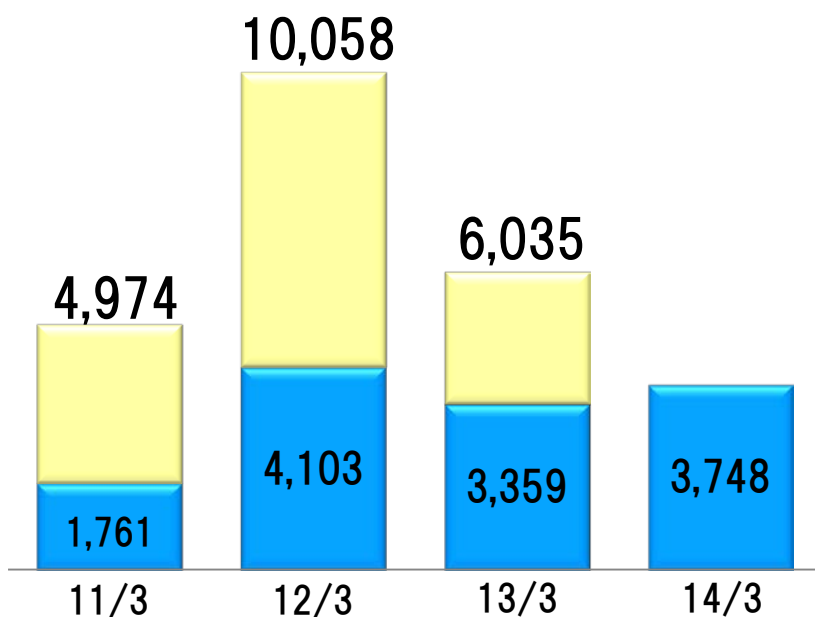
売上高 3,748 百万円  
(前年同期比 11.6% 増)



総売上高比率  
6.0%

## 売上高

(百万円)

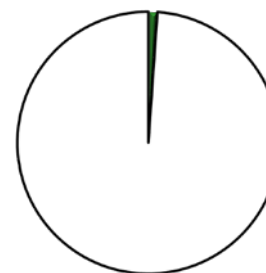


## 事業概況

中南米を中心に自動車部品製造会社向けプラスチック製品製造装置、塗装設備、自動組立ロボット等の需要が堅調であったため、売上高は増加。

米国政府の債務問題等による景気の後退が懸念されるが、日系自動車メーカーが集中するメキシコでは設備投資への意欲が引き続き活発であることが見込まれるため、お取引先ごとに商材の最適なコーディネートを提案しながら受注活動を強化する。

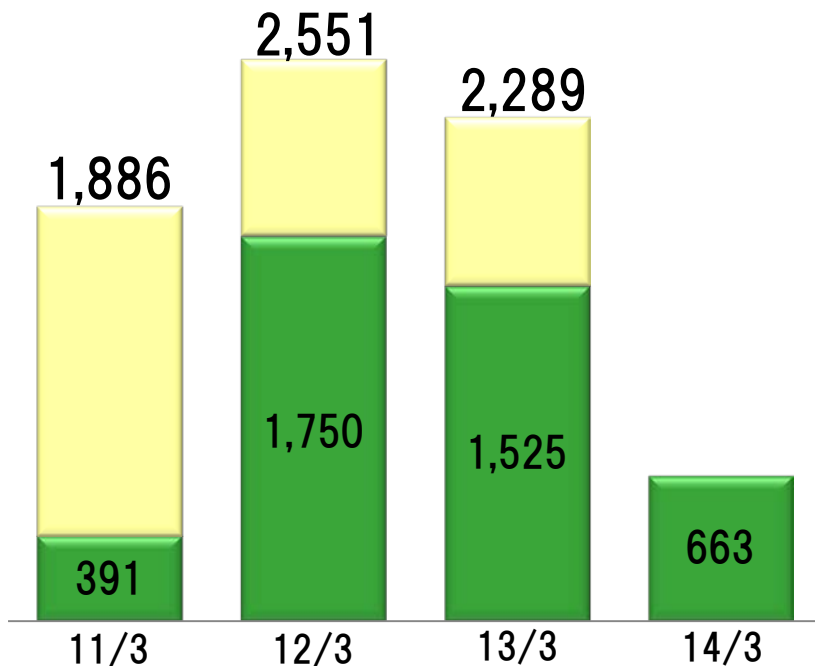
売上高 663 百万円  
(前年同期比 56.5% 減)



総売上高比率  
1.1%

## 売上高

(百万円)



## 事業概況

自動車部品製造会社向けの各種製造設備や塗装設備等の売上計上があったが、エレクトロニクス業界の市況が低迷したことにより設備投資が抑制され、売上高は大幅に減少。今後は、LIB製造関連設備等の自動車関連業界への販売を強化するとともに、販売エリア拡大のためのマーケティング活動を行い、現地商材の開発や商流の開拓を進める。

1. 2014年3月期 第2四半期 決算概要
2. セグメント別 概況
3. 海外事業 概況
4. TOPICS
5. 2014年3月期 業績見通しおよび中期経営計画
6. 配当政策

◆ご参考資料

## 植物工場プロジェクト

新規事業として、植物工場システムの販売に関するプロジェクトを立ち上げた。工場には当社が得意とする省エネ、省人、環境配慮型の設備を取り込み、国立大学法人東京農工大学より指導を受けたブルーベリー、ストロベリーを中心とする植物栽培のノウハウと合わせ、トータルソリューションでの販売を目指す。現在、埼玉県入間郡毛呂山町にパイロットプラントを建設しており、付加価値の高い果実を栽培、販売しながら植物工場のノウハウを蓄積する。



建設中の植物工場完成予想図

## 小型バイナリー発電装置

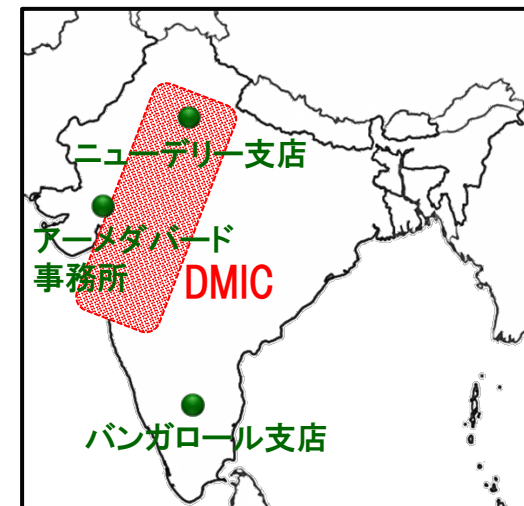
昨年より販売を開始している(米国)アクセスエナジー社製の高温の排ガスを電力に変換しエネルギーの有効活用が可能な小型バイナリー発電装置の販路を拡大中。産業廃棄物の排熱利用に加え、温泉地における温泉熱利用への展開を実現。2013年10月に稼働を開始した低温型発電モジュールを搭載した新型発電装置は、業界から高い注目を集めており、さらなる拡販に注力する。



小型バイナリー発電装置

## アーメダバード事務所

2013年9月、自動車、化学、製薬業界等の市場開拓を目的として、インド北西部、グジャラート州のアーメダバード市に新事務所を開設した。グジャラート州は、デリー・ムンバイ間の貨物専用鉄道敷設を通じて一大産業の地域形成を目指す「デリー・ムンバイ間産業大動脈構想(DMIC)」の中央部に位置する州で、自動車関連企業を中心に多くの日系企業、欧州企業の進出が決定している。高い成長性が見込まれるこの地域にて、プラント用設備、各種機械器具の販売、サービスの提供等を行い、事業の拡大に注力する。



## 第一実業(メキシコ)

2005年にメキシコに現地法人を設立し、現在はケレタロ本社を含め3都市に営業拠点を展開している。メキシコは米州全域向けの自動車製造拠点として発展を続けており、数多くの自動車メーカーが工場を展開。また、北米自由貿易協定(NAFTA)やメルコスール(南米南部共同市場)の特恵貿易協定により、自動車部品輸出の関税優遇措置が整っており、自動車部品メーカーによるメキシコへの進出も活発になっている。今後も成長が見込まれるメキシコ地域の自動車製造関連企業をサポートし、事業の拡大を図る。





1. 2014年3月期 第2四半期 決算概要
2. セグメント別 概況
3. 海外事業 概況
4. TOPICS
5. 2014年3月期 業績見通しおよび中期経営計画
6. 配当政策

◆ご参考資料

# 2014年3月期 業績見通し

(百万円)

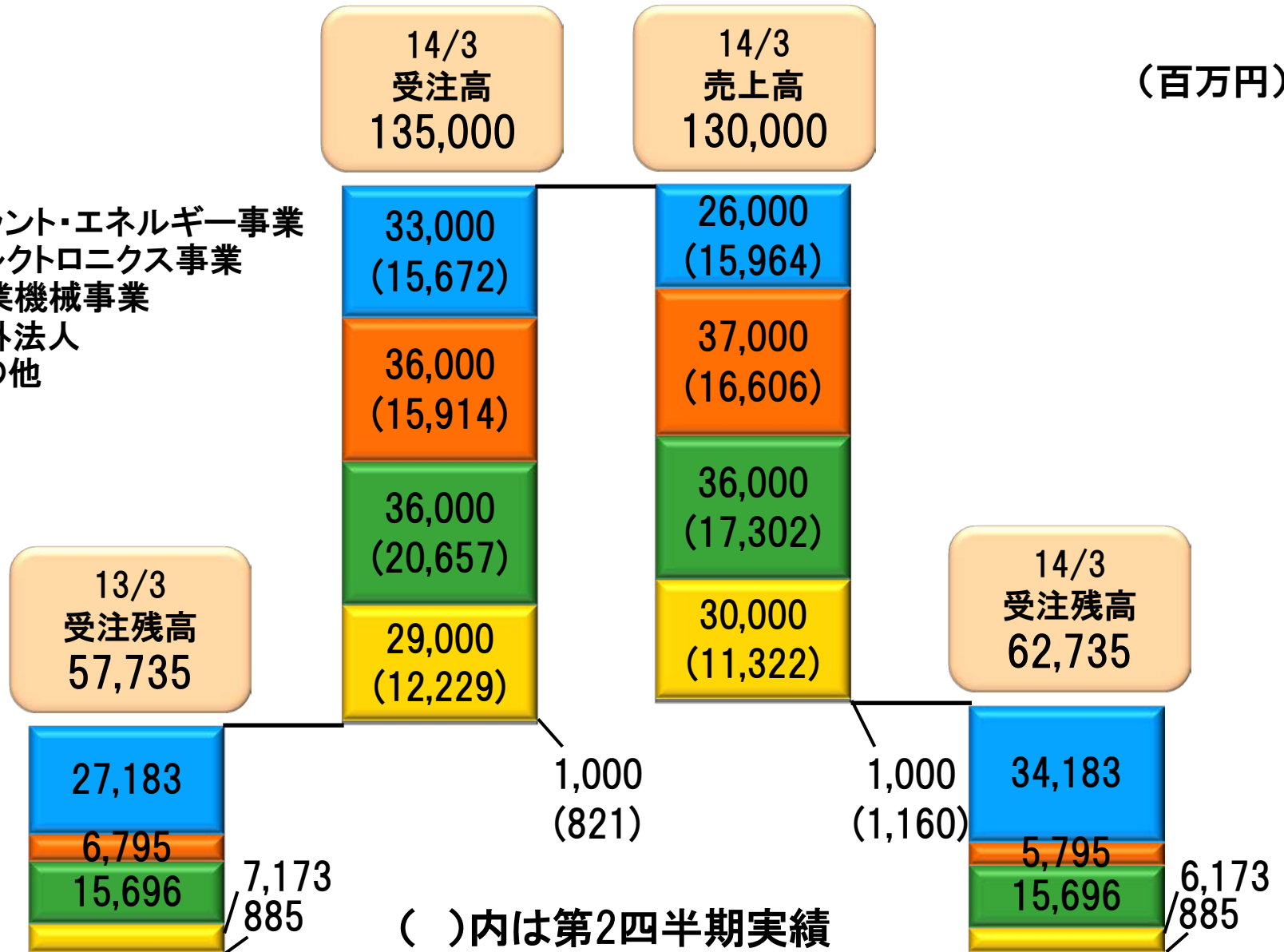
	13/3 実績	14/3 予想	増減
受 注 高	125,662	135,000	+9,338
売 上 高	128,229	130,000	+1,771
営 業 利 益	4,590	4,600	+10
経 常 利 益	4,925	4,800	△125
当 期 純 利 益	3,051	3,000	△51
1株当たり当期純利益	57.97円	56.67円	△1.30

# 2014年3月期 セグメント別受注高および受注残高見通し



(百万円)

- プラント・エネルギー事業
- エレクトロニクス事業
- 産業機械事業
- 海外法人
- その他



# AIM2015

Aggressive Innovation for Multi-functional Global Business

多機能性を持ったグローバルビジネスへの積極的革新！



多機能性を持ったグローバルビジネスへの積極的革新！

## 定量目標（連結経営目標）

	13/3 実績値	16/3 目標値
売上高	128,229	155,000
営業利益	4,590	5,700
経常利益	4,925	5,900
当期純利益	3,051	3,700
総資産	81,478	92,000
自己資本	28,861	36,000
有利子負債	7,486	8,000
ROE (%)	11.2	10.7

## 定性目標（基本方針の内容）

### I. 事業軸経営への移行によるビジネスの拡大

- ① グローバルなビジネスを徹底捕捉
- ② 広範囲な営業力とエンジニアリング集団としての強み、高付加価値の創造

### II. 事業軸経営への移行と経営強化・効率化の推進

- ① 事業軸経営システムの整備・転換
- ② 意識改革および人財の育成
- ③ 財務体質の更なる強化

1. 2014年3月期 第2四半期 決算概要
2. セグメント別 概況
3. 海外事業 概況
4. TOPICS
5. 2014年3月期 業績見通しおよび中期経営計画
6. 配当政策

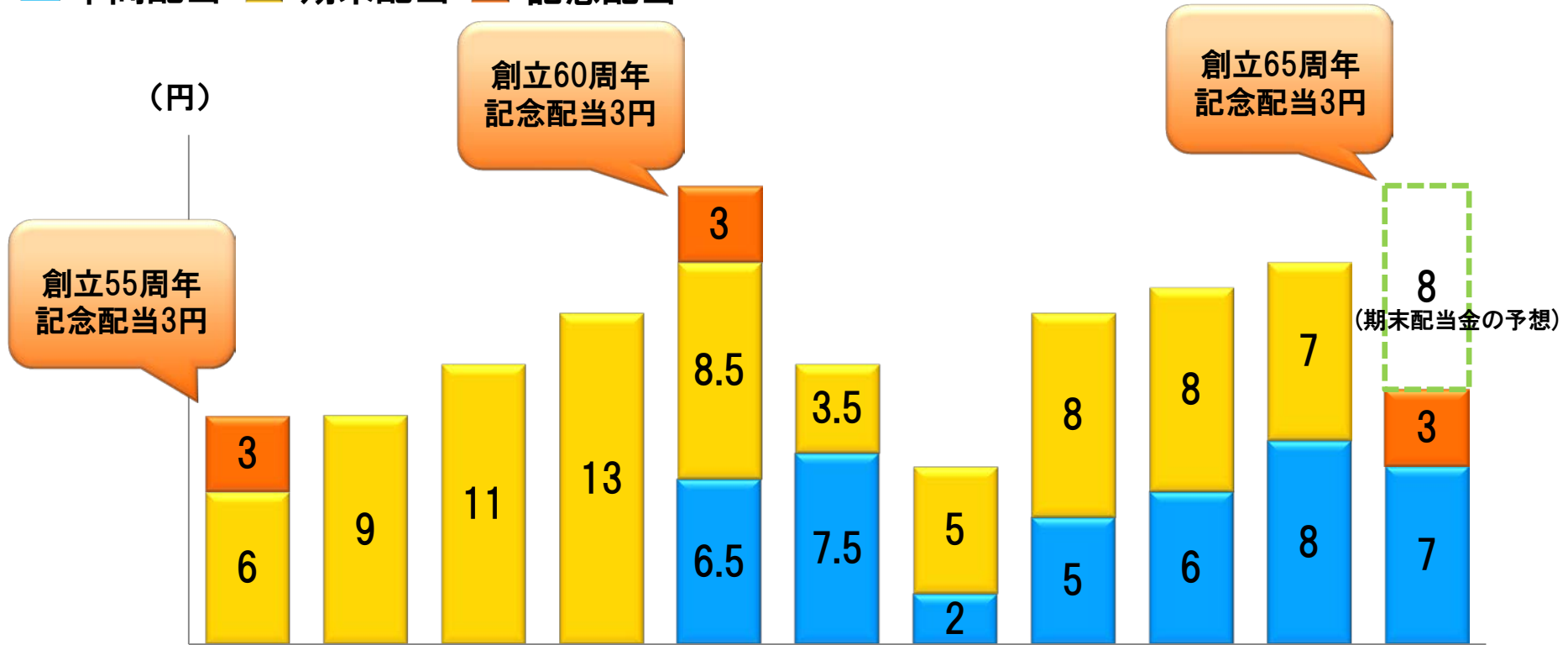
◆ご参考資料

# 配当金の推移・配当性向

- 配当性向は、単体利益に対して30～50%を目処。
- 中間配当は創立65周年の記念配当を含み10円(期末配当は8円を予想)。

■ 中間配当 ■ 期末配当 ■ 記念配当

(円)



	04/3	05/3	06/3	07/3	08/3	09/3	10/3	11/3	12/3	13/3	14/3 (2Q)
配当性向: 単体(%)	102.4	46.1	31.7	35.5	35.2	42.2	39.7	37.7	42.2	47.8	45.6

# ご清聴ありがとうございました

お問合せ先 IR・広報部

TEL: 03-5214-8611 FAX: 03-5214-8503

E-MAIL: [djk\\_ir@djk.co.jp](mailto:djk_ir@djk.co.jp)

HOME PAGE: <http://www.djk.co.jp/>

東京都千代田区二番町11番19号



## 第一実業株式会社

本資料に記載されている当社の業績見通し、経営目標、その他歴史的事実でないものは、現時点での入手可能な情報に基づき、将来の業績に関する見通しを示したものです。実際の業績は様々な要因によりこれらの業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

## ◆ご参考資料

### 1 創業の精神



### 2 DJKの歩み



### 3 ネットワーク展開



### 4 ソリューション ビジネス



### 5 直近15年の 経営成績



### 6 CSR

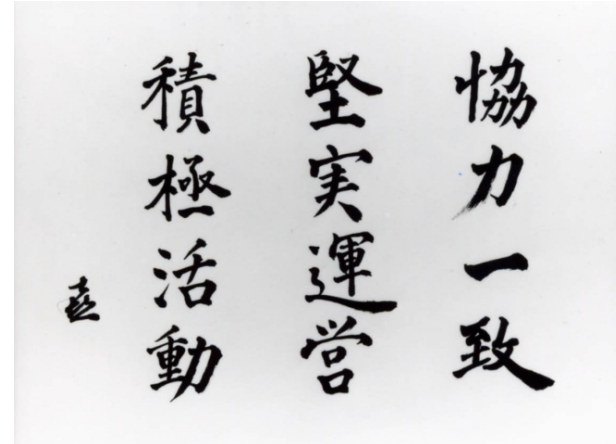




## 脈々と受け継がれる創業の精神



初代社長 倉持正次郎



創業後に制定された社是三原則。創立64年を過ぎた現在もなお企業風土に脈々と受け継がれております。

第二次世界大戦終結後、さまざまな産業分野を独占していた財閥が解体され、市場に競争原理が導入されました。このとき解体された「浅野財閥」に関わる人材の中から、後の第一実業株式会社の創業メンバーが輩出されました。

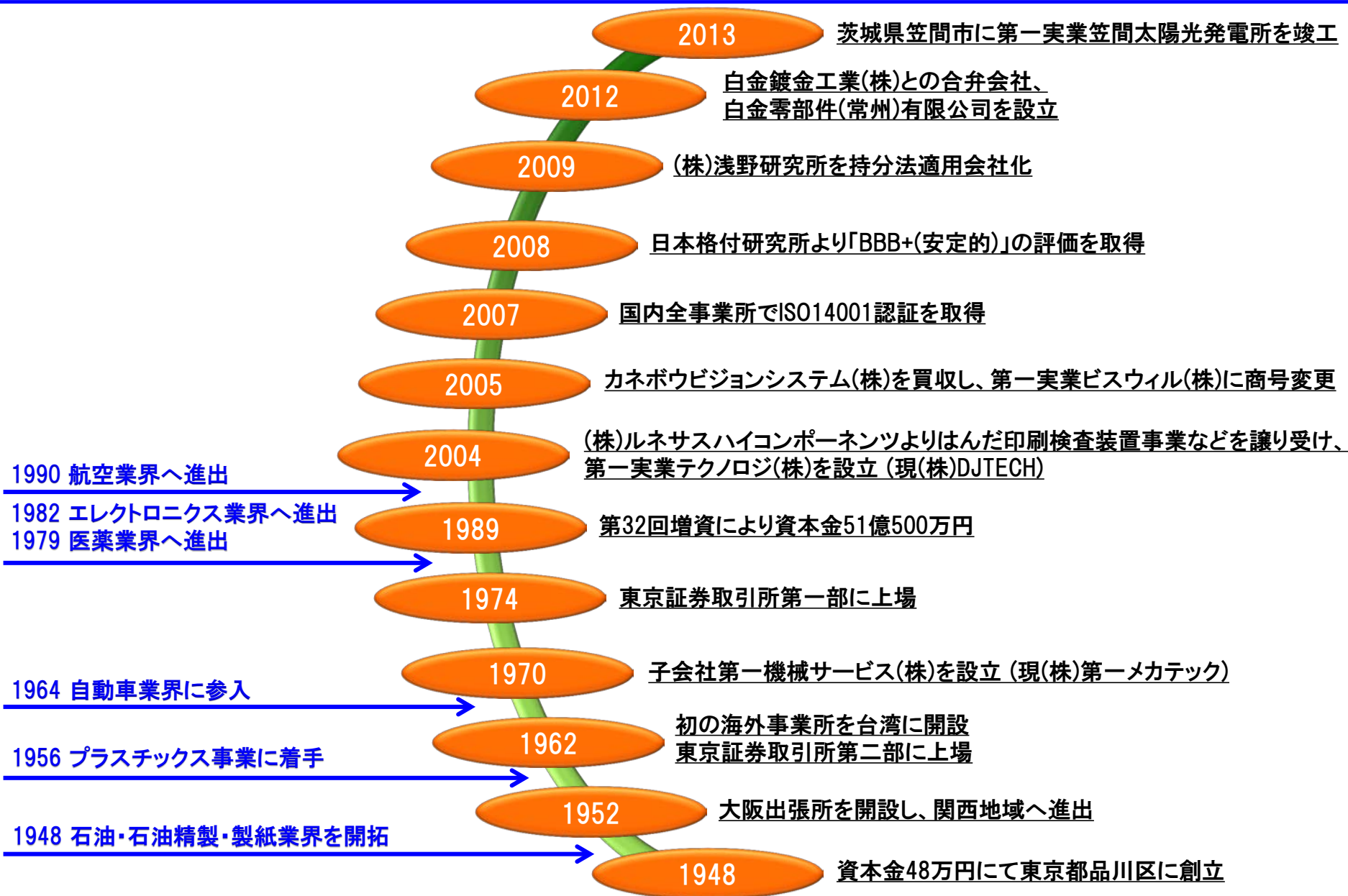
1948年(昭和23年)8月12日、後に初代社長となる倉持正次郎を含む全7名を発起人として会社を設立。商号を「**第一実業**」と定め「**機械専門の商事会社**」としての一步を踏み出しました。

倉持は、当時横行していた闇取引を一切認めず、下記のことを徹底いたしました。

1. 機械の売り買いのみに徹する
2. 大企業・一流企業を取引相手とする
3. 銀行との信頼関係を大切にする

投機性のない商売を地道に続け、信頼できる相手を選び、毎月銀行に業績報告し続けた結果、当社は**誠実で堅実な企業**として周囲の信頼を獲得し、着実に成長してまいりました。

このような精神は、現在の当社に深く根付いております。



## 国内事業所

● 株式会社第一メカテック  
機械等の技術開発・サービス

● 株式会社DJTECH  
半導体装置等の開発・製造・販売

● 株式会社浅野研究所  
真空成形機、熱板成形機等の開発・製造・販売

● 名古屋支店

● 大阪支店

● 広島支店

● 福岡支店

● 第一実業ビスウィル株式会社  
外観検査装置等の開発・製造・販売

● 本社

● 札幌支店

● 東北支店

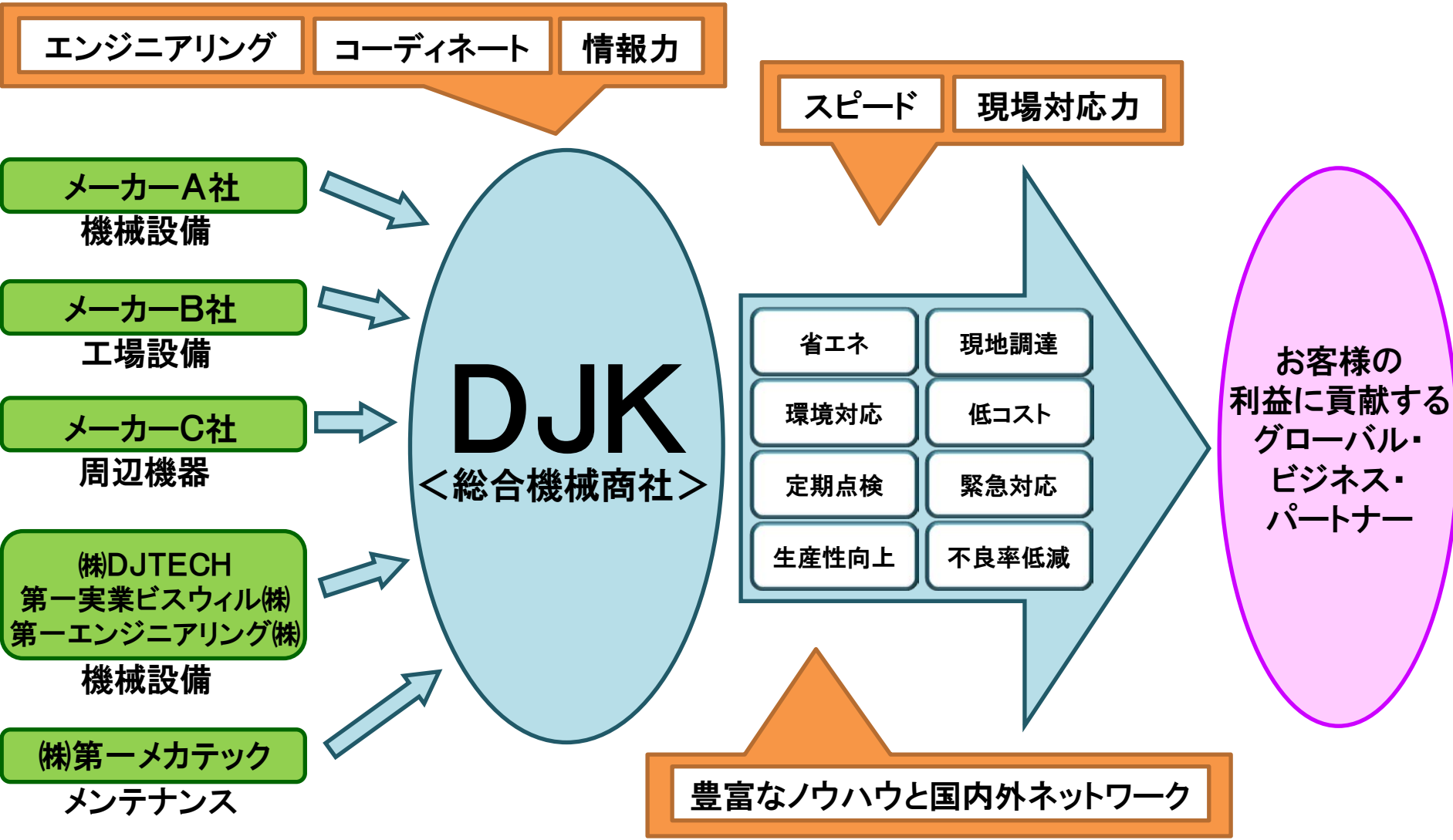
● 笠間太陽光発電所

● 第一スルザー株式会社  
紙パルプ・プラント用ポンプ等の販売

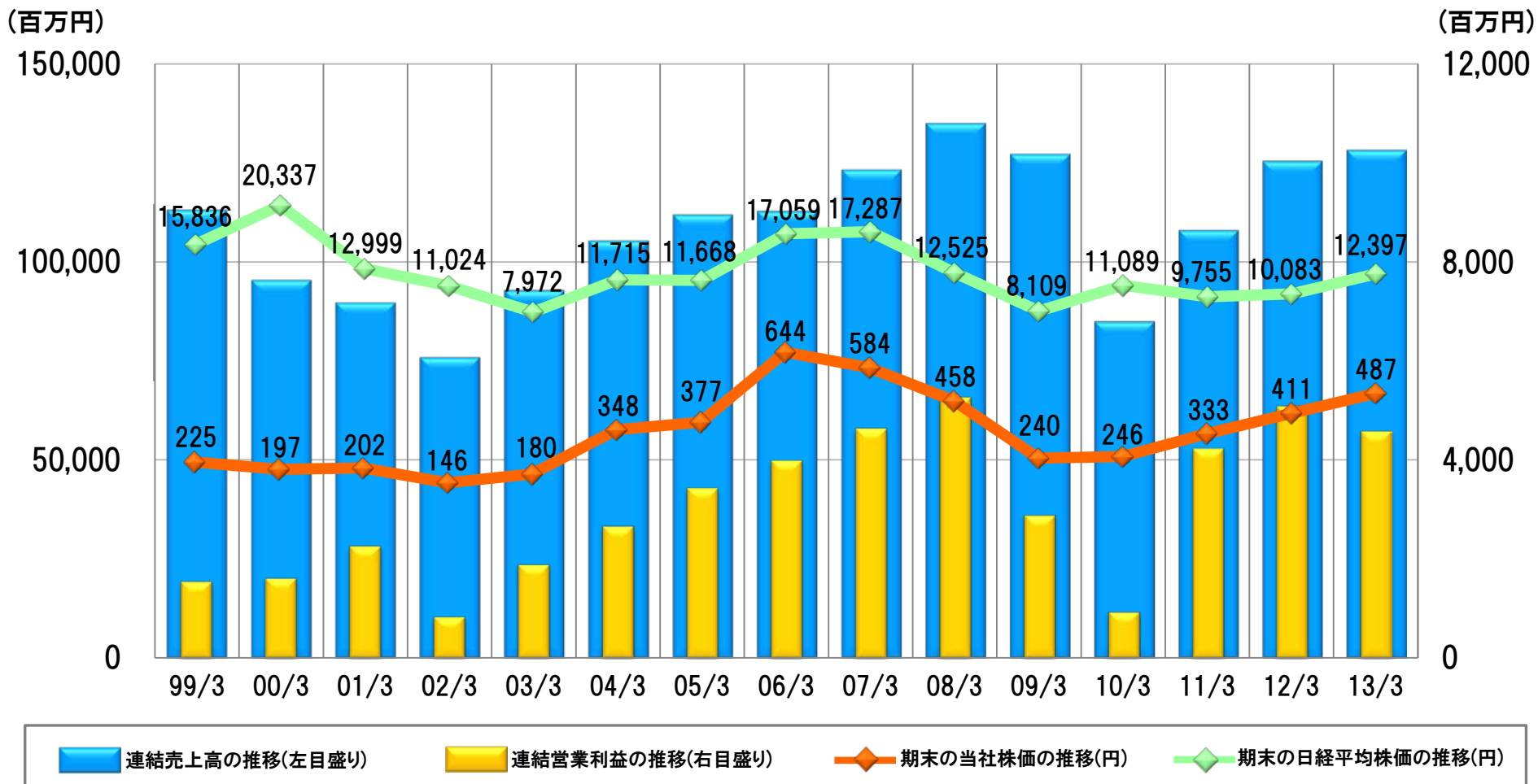
● キャメロンジャパン株式会社  
石油精製プラント用機器等の設計・製作・販売

● 第一エンジニアリング株式会社  
環境設備等の設計・製作・販売

● 株式会社フロー・ダイナミクス  
連続圧搾水機等の販売



# 5 直近15年の経営成績



当社グループは世界に通用する優良企業を目指して社会的責任の役割を果たし、ステークホルダーの皆様とともに持続的な社会の実現を実現してまいります。

安全で良質な商品・サービスの提供による顧客満足度の向上

コーポレートガバナンスの充実  
および内部統制システムの整備・強化

環境配慮商品の積極的拡販

株主価値の向上

ステークホルダー等に対する  
積極的情報開示

地域社会活動の貢献

## 社会貢献活動

### 未来のエンジニアを育成



当社は総合機械商社として、子供たちに“ものづくり”の楽しさを伝えるため、ロボット教室、ロボットコンテストへの協賛を行っております。未来の“ものづくり”を担う子供たちが科学技術を身近に体験しながら、創造性と問題解決力を育成できる活動の場となるよう支援してまいります。

### その他の社会貢献活動

日本赤十字社への寄付

国内外の災害地域への義捐金の拠出

ユニセフへの外国コイン募金活動

エコキャップ活動

近隣小学校へのニュース掲示板の寄贈等

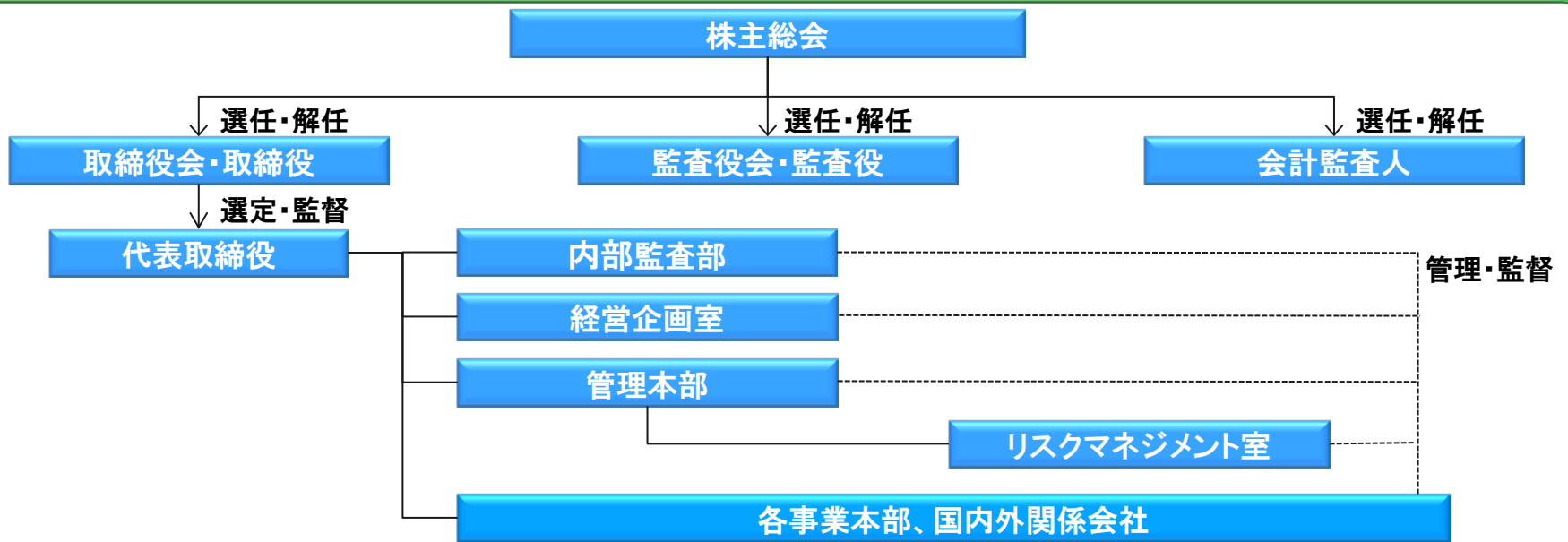
## 人財育成

### ナショナルスタッフへの研修



企業のグローバル展開が進む中、当社グループでは延べ1,000名を超える社員が世界各地で働いております。海外のナショナルスタッフに対し、定期的に当社の企業理念や経営方針をテーマとした研修を行うことにより、企業文化の浸透や海外事業の強化を図ってまいります。

## コーポレート・ガバナンス



## 投資家の皆様に対する行動規範

### ディスクロージャー

役職員は投資家の皆さまに対し、投資判断に関わる重要な情報を正確にお伝えしてまいります。それらの情報の多くは、投資家の皆さまが理解しやすい形で公表いたします。

### 正確な記録

ディスクロージャーの前提は、正確な記録です。ビジネスに関するあらゆる情報は、法令・ルールに従い、正しく記録いたします。

### 内部監査の重視

当社は、投資家の皆様の利益を守るため、中立的な観点からビジネスのあり方をチェックする内部監査システムを整備し機能させてまいります。

### 投資家とのコミュニケーション

投資家の皆様には、私たちが「利益と倫理が相反する場合、倫理を選択すること」を確認し、それが結果として会社の利益になることをお伝えしてまいります。